

# 平成30年度(第31回)香川県技術士会総会 創立30周年記念事業 報告

## 総会の状況

去る平成30年6月11日(月)、JRホテルクレメント高松において、平成30年度香川県技術士会総会・創立30周年記念事業が開催されました。総会は88名、記念事業のうち、記念講演会は120名、記念式典は103名、写真撮影は98名、祝賀会は88名の方に出席を頂きました。総会は創立記念と同時開催でもあり、例年より10名程度多く、式典や祝賀会は20周年とほぼ同じです。

まず、総会では細谷会長による開会挨拶の後、添付資料のとおり、第1～5号議案までの審議が行われ、いずれも全会一致で承認されました。

本年度は、役員改選期(2年毎)で、井上幹事をはじめ5名の方が退任されました。退任された役員の方には大変お疲れ様でした。また、新しく末澤副会長をはじめ5名の方が役員に就任され、フレッシュな顔ぶれとなりました。今後ともよろしくお願いいたします。

総会の終わりにサンエー設計㈱の山田さん、復建調査設計㈱の竹内さん、そして私から「プラスワン」で始めた2つの研究会について紹介がありました。昨年研究テーマを募集したところ、7件の応募の中から「この指とまれ方式」で

- ・香川県プラタモリ研究会～香東川～
- ・香川県人ヒストリー研究会～西嶋八兵衛～

が採用されました。今後、2つの研究会の拡がりおよび新しい研究会の立ち上げを期待しています。

なお、会費ですが、昨年の総会で承認されたとおり、今回から日本技術士会会員の方はこれまでの免除から2,000円を頂く一方、技術士補の方は今後沢山入会されることを期待して、5,000円から2,000円に減額しました。昨年より8名会員数が減っていますので、会員の皆さんには技術士補の方を中心に勧誘をお願いします。

次に、創立30周年記念講演会は、京都大学名



細谷会長による挨拶



新役員(左から、檜垣・末次・上西・大場・末澤さん)



プラスワン研究会の紹介(左から山田・加藤・竹内さん)



菅教授の大西有三先生より、「福島第一原子力発電所の汚染水処理・処分対策のこんにち」と題して講演がありました。先生は、同原発汚染水処理・処分対策委員会委員長を歴任され、一時新聞でも話題になった凍土壁など汚染水の問題を分かり易く説明して頂きました。100%汚染水処理を行うことは技術的にも大変難しく、苦勞されていることがわかりました。また、当地に関係した南海トラフ巨大地震の話やAIの話など盛り沢山で、質疑の時間が不足大変申し訳なく思いました。

次に、記念式典では、末澤新副会長の開式の辞の後、物故者に対して黙祷、細谷会長の式辞の後、浜田香川県知事、寛香川大学長、古野日本技術士会四国本部長から来賓祝辞を頂きました。公務等でお忙しい中、いずれもご本人から祝辞を頂き、大変有難く伺いました。また、中国・四国各地域の本部、支部、各県技術士会から本部長、支部長、会長をはじめ総勢15名の来賓の方が来られ、紹介させて頂きました。次に、感謝状を3期6年以上務められた退任される役員、20年以上会員活動をされている年長の方、事務局の安藤さんの合計9名（8名出席）の方に贈呈しました。また、私から“30年のあゆみ”で当時の真鍋知事と武山会長の防災支援協定を皮切りに写真で振り返り懐かしい思い出に浸ったのち、浅野副会長による開式の辞で終わりました。

式典の後、写真撮影をしました。当日祝賀会の後配布できたこと、また30周年の文字が入り美しい出来栄えに仕上がったことで費用はかかりましたが、良い記念になったと思います。

祝賀会では、細谷会長の挨拶と伊藤日本技術士会副会長・鳥取県支部長の乾杯の音頭で宴が始まりました。講師の大西先生や式典で記念祝辞の後一度退出されていた浜田知事も出席して頂きました。

祝賀会ということで、余興は細谷会長の伝手により三豊市高瀬町出身で香川県を中心に活躍されています和太鼓集団「響屋」(おとや)

記念講演会（講師：大西先生）



記念講演会（講師：大西先生）



記念講演会の状況（後部椅子席）



末澤副会長による開式の辞



細谷会長による式辞



来賓紹介（大田日本技術士会中国本部長）



浜田香川県知事による来賓祝辞



感謝状の贈呈



筧香川大学長による来賓祝辞



感謝状贈呈者（8名）



古野日本技術士会四国本部長による来賓祝辞



加藤事務局長による“30年のあゆみ”の紹介



浅野副会長による閉式の辞



和太鼓集団「響屋」(おとや) 演奏



細谷会長による挨拶



新会員紹介

(左から古川・澤田・小橋さん)



祝賀会の状況



伊藤日本技術士会副会長による乾杯



和太鼓集団「響屋」(おとや) 演奏



長谷川副会長による閉会挨拶



さんにお願ひし、フレッシュで勢いのあるレベルの高い演奏を聴きました。20分程でしたが、耳と目が釘付けになりました。聴いた皆さんのどなたも素晴らしかったと伺い、記念事業がより印象深くなったと思います。演奏の後、3名の新入会者（古川・澤田・小橋さん）の自己紹介も行われ、最後は、長谷川副会長の閉会挨拶、日本技術士会理事で右城高知県技術士会代表幹事の万歳三唱でにぎにぎしく閉会しました。なお、司会は総会～記念式典まで幹事の甲斐さん、祝賀会は事務局の檜垣さんが担当しました。お疲れ様でした。

当日は、記念誌を配布しました。前回、平成22年に第14号で最終でしたが、今回同じデザインの表紙で第15号を発行しました。まず、13社の関係企業に広告掲載料を頂いたこと、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。また来賓祝辞の御三方、回想記や寄稿文、メッセージなど多数の方から貴重な原稿を頂きました。本当に有難うございます。

最後に、建通新聞6月19日付の記事が掲載されましたのでご紹介します。以上、記念事業は盛会となり、成功裏に終わることができました。来賓の方からも盛大で良かったとの言葉を頂きました。会員の皆様にはご協力大変有難うございました。（文責：事務局 加藤）



建通新聞（6月19日付）



記念写真(98名)

